

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	5-(3)-イ	Society5.0に対応する教育の推進	施 策	①ICT教育の充実
			施策の小項目名	○児童生徒・学生がICTに親しむ機会の創出
主な取組	児童生徒・学生がICTに親しむ取組みの推進		対応する成果指標	教員のICT活用指導力（高等学校）
施策の方向	・情報通信関連産業や教育機関等と連携し、ICTに関するイベントの開催や出前講座など、将来の担い手となる児童生徒・学生がICTに親しむ機会を増やす取組を推進するとともに、ICTの急速な進展に対応できるよう、沖縄県立総合教育センター等において、ICTの活用・指導能力向上に向けた教職員研修の充実を図り、すべての教職員の指導能力の向上に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
児童・生徒を対象とした未来のIT人材を育成する様々な事業やITに関する魅力と可能性を伝えるイベント等に対する支援を行う。	県,民間	ITスキル習熟イベント、IT広報イベントの開催支援		
		イベント開催数（累計）		
		50回	50回（100回）	50回（150回）
担当部課【連絡先】	商工労働部ITイノベーション推進課【 098-866-2503 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/shigoto/keizai/1009879/1009880/1010273/index.html

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 沖縄未来のIT人材創造事業				予算事業名 沖縄未来のIT人材創造事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	補助	15,367	10,152	一括交付金 (ソフト)	補助	36,566の一部
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
児童・生徒を対象とした未来のIT人材を育成する様々な事業やITに関する魅力と可能性を伝える広報イベント等に対する支援を行った。				児童・生徒・学生及び保護者を対象とした未来のIT人材を育成する様々な事業やITに関する魅力と可能性を伝える広報イベント等に対する支援を行う。		

活動指標名	イベント開催数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	352回	326回	257回	50回（150回）	100.0%	順調	プログラミング体験講座やIT施設・企業見学ツアー、教育機関やIT関連企業によるITテクノロジー体験等ができる展示会を実施する取組に対し補助を行った。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
幅広いIT人材の育成・確保に繋がる様々な取組への支援により、イベント開催数が目標値を大幅に超過していることから進捗状況を「順調」と判断した。イベント支援を通じた目標参加者数500人に対し、4,202人の参加実績になるなど、数多くの児童・生徒のICTへの興味を喚起し魅力を伝えることができた。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和6年度の取組改善案				反映状況			
○事業者において自立的な取組として継続できる方向で支援内容のあり方を検討する。 ○引き続き、県教育庁と連携した広報・周知等により、参加者の裾野拡大を図る。				○事業者に対してヒアリングを行い、自立的な取組として継続可能な支援の方向性を整理したほか、県教育委員会や各市町村教育委員会と連携して広報・周知等を行った結果、目標参加者数を大幅に上回る実績となった。			

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	引き続き、県教育庁と連携した広報・周知等により、参加者の裾野拡大を図る必要がある。	② 連携の強化・改善	教育機関との連携を強化していくほか、新たに他イベントとの併催を検討し、参加者の裾野拡大を図る。
⑦ その他（改善余地の検証等）	事業の主な対象が小学生に偏っているため、年齢別に部門を設けるなどして、参加者の裾野を広げる必要がある。	⑦ 取組の時期・対象の改善	小学生向け・中高生向けの部門を新設し、それぞれの部門で教員や保護者も対象に加えることで、参加者の裾野を広げる。